

中山時子教授は、昭和二十四年十一月、東京女子高等師範学校および発足直後のお茶の水女子大学に着任され、以来、本年三月の定年退官に至るまでの三十九年間、一貫して本学の中国語教育に情熱を注がれた。

同教授は青年期を長く中国で過ごされ、そこで培われた卓抜な中国語能力ならびに中国的生活様式への深い理解をもとに、中国語の教育と研究において、大きな功績を残された。また中国食文化研究においても多くの業績をあげられた。本学に学んだ者、ひいては本学会に属する者のほとんどすべては、その中国語の基礎を同教授の厳しい指導のもとに学び、留学など中国との直接的なかわりの面でも同教授に負うところが少なくない。

中山教授のこのような御指導に報いるべく本号を退官記念号とし、同教授の多年にわたる御尽力に感謝するとともに益々の御健勝を祈念するものである。

昭和六十三年四月

お茶の水女子大学中国文学会

会長 佐藤 保

委員長 平松 圭子

委員 藤山 和子 小島 久代

高橋由利子 菅原 博子

根岸 政子